

【関西フューチャーセンター様】

上映日:2015/3/8(日) 場所:神戸市立地域人材センター(旧二葉小学校)



上映会当日、映画を観賞する参加者



上映後に行なわれた「フューチャーセッション」(対話)の様子



コミュニティーラジオに出演し、上映会を告知

映画を通じて感じたことを語り合い、復興について考える場作りを

●上映会を開催するに至った経緯を教えてください。

阪神淡路の震災から20年。東北の震災から4年の3月に、神戸の震災の時避難所になった旧二葉小学校で映画「ガレキとラジオ2014」をみて映画を見た人同士で対話するとどんな未来がうまれるのか。関西フューチャーセンターは今年は震災について考えることに力をいれた場作りをしていくオープニングとしておりました。

●実行委員会は、どのようなメンバーでしょうか？

参加者から有志を募って手伝ってもらいました。コアな実行委員会はありません。

●後援、協賛、協力などを得られた団体や個人はありましたでしょうか？

神戸の地場に縁がなく、神戸モトマチ大学さんに後援をお願いし広報していただきました。そこから宝塚、神戸で映画「ガレキとラジオ2014」を見る会の皆さんがFacebookでお手伝いしてくださりコミュニティーラジオに出演させていただいたりしました。また開催場所も開催日も同じLOVEフェス3.11にもご協力いただけました。

●地域にどのようにして告知して、参加を促しましたか？

コミュニティーラジオ:FMわいわい、さくらFM、FM-GIGなどのコミュニティーラジオに出演し、告知をしました。

●鑑賞後の感想や反応など、周りに何か変化はありましたでしょうか？

以下、参加者の感想より引用。

・1人1人の存在って小さいと思ってしまうがちだけど、すごく大きいなっていうことと、人を前に動かすのは、誰かのためっていう気持ちなんだなって感じました。
 ・映画を観てからの感想シェアでは、自分達に何ができるのか？という問いが生まれました。それぞれの持ち場で社会との繋がりを感じながら一所懸命に日々を過ごすこと。それが自分たちのできることはないのだろうか。
 ・映画も、終わった後の話し合いも良かったです。他の人の話を聞く→自分と対話する→他の人の話を聞く、というサイクルが私にとっては新鮮でした。

●今後、どのような活動を？

復興について考える対話の場作りをフューチャーセッションという形でしていきます。

●今後、上映会を開催される主催者の皆さんに向けて、メッセージをお願いします。

映画を見てもらって皆さんで感じたことを語り合って復興の未来をつくるようにしていただきたいです。



「フューチャーセッション」でのアウトプット

ご担当者様:関西フューチャーセンター 成松秀夫さん

関西フューチャーセンター
<https://www.facebook.com/kansaicn/timeline>
 北欧で生まれたイノベーションを生み出す手法(フューチャーセッション)を用いて、さまざまな団体、企業、個人をネットワークでつなぎ、よりよい未来のために、対話の力で社会イノベーションを起し、社会的課題を解決していきます。2012年2月より活動開始。